

令和元年度第1回

睦沢町総合教育会議議事録



睦 沢 町

令和元年度第1回睦沢町総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和元年 7月26日 (金)
開会 14時15分 閉会 15時16分
2. 会 場 睦沢町役場 3階 308会議室
3. 出席者 睦沢町長 市 原 武
睦沢町教育委員会 教育長 今 井 富 雄
教育委員 飯 塚 史美代
教育委員 佐 藤 秀 文
教育委員 藤 原 雪 枝
- (事務局関係)
- 総務課副課長 (財政班長) 秋 葉 秀 俊
総務課主査 (総務班長) 池 澤 竜 二
教育課長 (歴史民俗資料館長) 中 村 年 孝
教育課主幹 久 我 英 治
教育課副課長 (中央公民館長) 小 高 俊 一
教育課主査 (生涯学習班長) 岡 田 好 弘
教育課主査 (学校教育班長) 芝 崎 洋 一
4. 議決事項 (1) 睦沢町教育振興基本計画の進行管理について
(2) 睦沢町教育大綱の見直しについて
(3) その他
5. 傍聴人 なし

【 14時15分 開会 】

久我主幹 本日は大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

只今より、令和元年度第1回睦沢町総合教育会議を行います。

進行は、教育委員会教育課 久我が務めさせていただきます。

始めに、市原町長からご挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

市原町長 令和元年度第1回総合教育会議の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。教育長、教育委員の皆様におかれましては、日頃より、町教育行政の推進にご尽力いただき誠にありがとうございます。

さて、この総合教育会議は、教育行政の様々な課題に、首長と教育委員会が協議・調整する場で、今年度第1回目となります。

昨年度は、2回の会議を開催し、園小中一貫教育について十分な協議と意見交換をさせていただきました。

町では、学校施設規模や建設候補地の検討を開始、睦沢町学校施設整備基本構想の策定に向け事務を進めているところでございます。皆様とも、今後、学校施設についての意見を伺わせていただきたいと思います。

本日は、睦沢町教育振興基本計画の進行管理を、毎年度、行っているようですが、そこからみえた課題や対応について、意見交換をさせていただければと考えています。

また、本年度は、睦沢町教育大綱の計画期間の最終年度となりますので、見直しについて協議をさせていただき、町と教育委員会で同じ方向を目指して取り組んでまいりたいと考えています。

本日も有意義な意見交換をさせていただければと考えています。よろしくお願いいたします。

久我主幹 ありがとうございました。

続きまして、今井教育長からご挨拶申し上げます。

今井教育長 皆さん、こんにちは、本会議は、町長と教育委員会が十分な意見の疎通を図って、睦沢教育の課題や教育のあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進がはかれるために位置付けられた会議であります。

したがいまして、園小中学校の子どもたちが、しっかりと学べる場や機会の提供、教育環境等の整備、また、町民誰もが生涯にわたって学び続けるこ

とができる場や環境が確保されるためにも、大いに成果のある、意義ある会議にしていきたいと考えます。

教育委員会、教育委員さんも様々な立場から、考えを持ち、子どもたち誰しものが幸福な人生のづくり手として、また、町民誰しものが、健康で幸せに暮らし続けられるために、生涯学習教育が充実して推進できるよう、この会議を重要な会議と考えて臨んでおりますので、改めて市原町長には、ご理解をお願いし、簡単ですが、教育長のあいさつといたします。どうぞよろしくお願いいたします。

久我主幹 続きまして、本日の出席者の紹介となりますが、資料の名簿をご覧ください、この名簿をもって代えさせていただきます。

それでは、本日の議事に移ります。議事の進行につきましては、睦沢町総合教育会議設置要綱第4条により、市原町長をお願いいたします。

よろしくをお願いいたします。

市原町長 それでは、議事進行をさせていただきます。

議題（1）睦沢町教育振興基本計画の進行管理について、事務局の説明をお願いします。

中村課長 （1）議題の1睦沢町教育振興基本計画の進行管理について、平成30年度教育委員会の活動に関する点検・評価報告から説明をさせていただきます。教育委員会では、睦沢町教育振興基本計画の進行管理として、毎年度、重点施策毎の指標を基にしながら実績や達成状況を分析し、課題を整理しながら評価を行っており、点検・評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、その結果に関する報告書を議会へ提出、また公表することになっております。

本日、お手元に配布させていただきましたものは、平成30年度教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書でございますが、この内容につきましては、先の教育委員会議において取りまとめを行いました。

報告書をご覧いただきまして、1ページに点検・評価に関すること、2ページから4ページでは、教育委員会の活動といたしまして、総合教育会議、教育委員会議ほかの実施について記載してございます。5ページに「3. 総合評価」として、6ページから10ページの基本目標1から基本目標5までの評

価内容を、文書でまとめてございますので、後程、ご覧いただきたいと思
います。11ページから15ページまでにつきましては、基本目標、施策毎の
実績値でございます。これらを基にいたしまして、4段階評価されたものが
6ページから10ページでございます。委員会の委員の皆様の評価と、外部
の行政評価委員2名による評価とでございます。本日は、この評価から見えて
きた課題と、今後の方策（対応）について、教育委員の皆様からご意見をい
ただきました、2つの評価についてご説明をさせていただきます。

はじめに6ページ、基本目標1 確かな学力と自立する力の育成の2の「伝
統と文化を尊重し、グローバル化に対応する教育の推進」では、外部評価委
員の評価が2.0と低い評価となっています。この評価の視点となりますの
が、全国学力・学習状況調査時の児童生徒への質問で、地域や社会でおきて
いる問題について「関心がある」と回答した児童生徒の割合が、全国平均と
本町で比較してみますと、小学校6年生の全国平均が63.8%、本町では、
58.7%、マイナス5.1ポイントでございます。中学校3年生の全国
平均が59.3%、本町では51.0%マイナス8.3ポイントと、小学生、
中学生共に、全国平均より下回っており、このことから評価が低くなったも
のと予想されます。この評価に対し、地域や社会でおきている問題について
の取り組みについてでございますが、地域や家庭と連携・協働して、ボラン
ティア活動、地域行事への参加など体験できる活動の機会と充実、また意識
の醸成が求められると考えます。

次に、12ページ、基本目標2 豊かな心と健やかな体の育成の11番の
「体力の向上と学校体育活動の推進」の項目がございますが、この評価の視
点となる新体力テストの点を県平均との比較により評価していますが、平成
29年度は、自己評価、外部評価委員の評価ともに、2.0でございました。
平成30年度は、自己評価が2.4、外部評価が2.5と評価は上がってお
ります。小学校では、スクールバスの利用により体力の低下が心配されて（教
育委員からの意見もある）いましたが、「遊・友ランキングちば」への取組
みであった、ロープジャンプを継続して実施していること、教科体育や業間
体育の充実が図られたことなども体力の向上に影響があったのではないかと
、また中学校では、教科授業で、例えば跳び箱の授業であれば、実技に入る前

に手押し車をする、柔道の授業では体幹を意識したトレーニングをする、また運動部活動でも、実技以外でのトレーニングが行われたということを知っており、評価が向上したと捉えております。体力の向上と学校体育活動の推進については、小学校のスクールバスの利用による体力の低下という懸念については、払拭されるものではございませんが、やはり基礎的な体力の維持・増進は、小学校、中学校共に必要な時期であり、今後においても学校での教科授業、部活動、その他の身体活動が行われる活動の継続と、総合型地域スポーツクラブでの活動や、指導者の派遣も積極的に促進することで更に向上が図れるようにしたいと考えます。以上です。

市原町長 事務局の説明が終わりました。それでは、意見のある委員の皆様はお願いいたします。

佐藤委員 重点施策の1 確かな学力の育成で、全国学力学習状況調査で小学校6年生と中学校3年生を対象に行っていますが、正答率を上げるのは、なかなか容易ではないです。児童生徒質問調査のなかで、将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合は、とても高い結果がでています小学校では、93.4%となっています。これは、大変すばらしいことだと思いますので、この子どもたちの意欲を学校でも、家庭でもうまく引き出して子どもたちの学習面、生活面ともに向上するようこれからも進めていく必要があると思います。

市原町長 ありがとうございます。ほかにもございますか。

飯塚委員 重点施策の10健康保持の増進で、児童生徒質問調査で朝食を食べていると回答した児童生徒の割合が高くなっていて学力の向上にもつながりますので、良い傾向にあると思います。

市原町長 ありがとうございます。他にございますか。

藤原委員 重点施策の11体力の向上と学校体育活動の推進で、少しずつ体力が向上していますが、学校だけでなく、ふれあいスポーツクラブの活用とか、小さい頃から遊べる公園を整備していただきたいです。

市原町長 ありがとうございます。ふれあいスポーツクラブも施設管理から外れて本来の活動に絞れますし、中学校の部活動で先生方の過重労働が問題となっていますので、指導者として入っていますが、中学校の部活動が本人の希望で

すので偏ってきています。休部となる部活動もございますが、学校だけでなくふれあいスポーツクラブでカバーできれば良いのかなと思います。他にはいかがでしょうか。

佐藤委員 重点施策の18学校・家庭・地域が一体となった教育の推進で、学校支援ボランティア活動の延べ人数が大幅に増えています。30年度から取り組んでいますコミュニティ・スクールに関わる場所が大きいと考えますが、今後とも地域とともにある学校づくりを進めていきたいと考えています。

小高副課長 ボランティアが増えた理由といたしましては、スクールバスの乗車補助に毎日ボランティアが入っています。読み聞かせのボランティアについては、4年生まででしたが、6年生までに拡大をしています。また、夏季休業中のサマースクールの学習補助にもボランティアの協力をいただいております。環境整備としては、小学校敷地回りの竹林伐採等もボランティアにより実施をいたしました等の理由によりボランティアの数が増えています。

今井教育長 昨年度の取組みを振り返ってみますと、21重点施策で約130の取組みがあり、施策だけをみますと、15の施策について上昇がみられ、達成したものが、9施策ございます。4年前の一番の課題が、確かな学力の向上とグローバル化に対応した資質能力の育成と社会的自立する力の育成を掲げていました。今も、この3つの課題は変わっていませんけれども、この4年間で子どもたちを取り巻く環境が大きく変わりました。町や議会でも教育予算に対する理解をいただきまして、教育支援員等の町負担の職員の配置や施設設備としてエアコンの設置、ICT機器の充実が児童生徒へ影響したのかなと思っています。英検や漢検の補助も予算をつけていただけました。この辺りが成果として表れたと思っています。特に、英語検定は、目標のクリアに近い状況となっています。先生方を含めみんなで行っている成果がでたのかなと思っています。今年度が最終の5年目ですから、しっかりとしたまとめをしていきたいです。

市原町長 ありがとうございます。ボランティアの活動が飛躍的に伸びていますが、人生100年時代に入り、ただ単に定年の年齢を伸ばすだけの問題ではなく、子育て世代が一番お金かかっていますが、60代になれば、そんなに所得はいりませんので、第2の人生をどれだけ有意義に過ごすのか、うまく回せれ

ば人生100年が良いものになると考えます。日本の問題として、国道16号線沿いに大規模な団地が多くございますが、高齢者になって次の後継者がいない中で生きがい作りをどのように求めるのかが課題となっています。先程の話にもございましたが、コミュニティ・スクールを導入したことで、皆さんが参加しやすくなったことが良かったかなと思います。これからも、施策をうまく作ることで、そちらに誘導できると思っています。これからも、町も限られた財源の中で支援をさせていただきたいと考えています。

他にございますか。ないようですので、それでは、議題（2）睦沢町教育大綱の見直しについて、事務局の説明をお願いします。

今井教育長 今回、提案をいたします第2次教育大綱は、こども園での教育保育や学校教育、生涯学習教育への方針転換するものではございません。効果的、効率的に睦沢教育が進められるような視点で、教育大綱（案）としてまとめています。

今日は、先行き不透明な時代、長寿命化に伴う人生100年時代を迎えること、グローバル化が進む世界、超スマート社会、ソサエティ5.0を迎え、AIや技術革新が急速に進み、ライフスタイルがこれまでとは違う社会が到来する。そこで、私たちは、これまでと同様の教育を受けていくだけでは通用しない大きな過渡期にさしかかっている激怒の時代であることを十分認識した上で睦沢教育を考え、子どもたちに受けさせていかなければ、人生を豊かに生き抜く力が身に付かないと考えます。

そこで、一つに園小中一貫教育の導入です。0歳から15歳の15年間を連続性、系統性を重視した教育を進めることで、「人間力」、「社会力」を備えた15歳、自主・自立、一人一人の可能性を最大限に高める一貫した教育を進めていきたいという願いを込めています。また、そのために家庭や地域との連携・協働により教育が進められ、子どもたちが守られ、安全・安心、豊かな心が育まれる学校や社会を作り上げていくことを願っています。詳細は、課長から説明申し上げます。

中村課長 （2）睦沢町教育大綱の見直しにつて、配布してございます第2次教育大綱（案）の説明をさせていただきます。現在の教育大綱でございますが、平成27年度に平成31年度までの5年間を計画期間とした、本町の教育、学

術および文化スポーツの振興に関する総合的な施策の大綱を策定いたしました。今年度は、計画期間の最終年度となることから、第2次教育大綱の策定にあたり、教育委員協議会で検討をさせていただき、先程教育長からもお話がありましたが、先行き不透明な時代、人生100年その中で、新しい社会で生き抜く力を身につけることをイメージし、園小中一貫教育のスタートも踏まえ、素案を作成いたしました。

その概要について、ご説明をさせていただきます。まず、この大綱は、地方教育行政の組織および運営に関する法律の規定に基づくものでございます。次に、基本理念として、「郷土を誇りに思う心と人間力・社会力の育成及び生涯にわたる幅広い学びの推進」とさせていただきました。

これは、昨年度に策定いたしました睦沢町園小中一貫教育基本方針において、本町の子供たちに「人間力」と「社会力」を身につけさせたいとしたことから、この大綱においても「社会力」を、加えたものでございます。「人間力」と「社会力」について説明を3ページにしてございますので、ご確認ください。次に、計画期間ですが、令和2年度から令和6年度までの5年間でございます。昨年度に睦沢町園小中一貫教育基本方針を、教育委員会で策定いたしました。その内容も反映させていただきます。

また、本年度、町部局において、睦沢町第2期総合戦略及び睦沢町子ども・子育て支援事業計画を策定しておりますので、教育の分野については、町部局と連携を図りながら、進めていきたいと考えております。

次に、根本施策ですが、基本理念の実現に向けた施策推進に共通する3つの視点とさせていただきました。現在の大綱と意味を変えるものではないですが、1点目の「子ども自らが人生を切り拓き、幸福な人生の創り手となる人材を育成する教育」の「幸福な生涯を実現する教育から、幸福な人生の創り手となる人材を育成する教育」としました。これは、新学習指導要領でも「自らの可能性を發揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにする。」と記載もあり、幸福な社会を皆が力を出し合い実現するというイメージでございます。次に、基本目標でございますが、この度の大綱では、1を「園小中一貫教育カリキュラムの実施と確かな学力・自立する力の育成」とし、3の「多様なニーズに対応した教育の推進」を加え、6つの基本

目標により、より充実した教育を目指すものでございます。

また、6の「スポーツの推進」としてございましたものを、「運動・スポーツの推進」と改めさせていただきました。スポーツ関連団体連携会議で講師からも、スポーツと運動では、その要素が違ってくるとの意見もございまして、大綱の最後に「語い説明」をつけさせていただきましたが、運動は、肥満や生活習慣病の予防、健康な生活を送るために行うもの。また、スポーツは、記録や順位を競い自分の限界に挑戦する、いわゆる競技性のあるもの。となることから、運動・スポーツとさせていただきます。次に、基本施策として3点示させていただきます。1点目が主に子どもに関する施策について、2点目が子どもを取り巻く環境に関する施策について、3点目があらゆる年齢層に対する施策について、とさせていただきます。

そして、2ページから3ページにかけてが、基本施策による基本目標となります。まず、基本施策1の主に子供に関する施策については、基本目標の1から3となり、7つの重点事項を掲げさせていただきました。新たな大綱には、園小中一貫教育の推進や新学習指導要領に関わる事項、町の歴史や文化、地域との関わり、コミュニケーション能力によるグローバルに活躍できる人材の育成、特別の教科 道徳の実施などで道徳心を養うこと、体力の向上や増進、食育、生活習慣を見直す、特別な支援を要する子や不登校、多様なニーズへの対応、新規の事業でもあります子育て支援ファイルの活用など、新たに明記いたしました。次に基本施策2の子どもを取り巻く環境に関する施策については、基本目標の4・5となり、6つの重点事項を掲げさせていただきました。教職員が能力を発揮するための支援や学校における働き方改革の実現、コミュニティ・スクールの拡大、ICTなどの活用、子育て環境の変化への対応、子どもが安心して安全に生活できる環境を推進することを明記いたしました。次に基本施策3あらゆる年齢層に対する施策については、基本目標6となり、人生100年時代を見据えた、多彩な学習機会の創出、歴史文化の保存、伝統芸能の伝承など文化財への関心を高めながら郷土愛を育む、運動やスポーツにより、それぞれが健康長寿を推進できる活動を充実させることを明記しました。最後に、「語い説明」として、人間力、社会力、運動・スポーツを説明させていただきました。

なお、本日、教育大綱が策定となりましたら、教育大綱に基づいて第2期睦沢町教育振興基本計画の内容を検討し、次回の総合教育会議にてお示しをさせていただきたいと考えています。以上でございます。

市原町長 説明が終わりました。なにかご意見がありましたらお願いします。

佐藤委員 基本目標が6点ありますが、3番目の多様なニーズに対応した教育の推進が今回新たに加えられますが、その内容として考えられるものは、障害を持った子ども、不登校の子ども、経済状況を含めた様々な各家庭の状況への支援等の対応をする幅広い内容となってくることが考えられます。現在、本町の小中学校に町の支援員を配置していただいておりますが、人的なものも大きな力となっております。この後、いろいろな手立てを考えていかなければいけないと思いますが、やれる手立てを講じて地域とともに子ども、家庭に寄り添って進めていく必要があると思います。

市原町長 ありがとうございます。学校の先生方の過重労働が問題となっておりますので、学校だけでなく地域の力等をかりて、子どもたちの「人間力」、「社会力」をつけることに応援をすることが重要になってくると思われまます。いろいろな形で支援ができることが大事だと思っています。

藤原委員 多様なニーズに対応するのは、学校だけではなく、不登校の理由として、睦沢町は、いじめは発生していませんので、心身の理由で登校できない子どもたちに様々な対応がでてくると思われまますので、別の形での支援が必要かなと思います。

今井教育長 この部分は、チームとしての学校がありますが、今は、校長を中心とした学校での「チーム学校」となっていますが、これから先は、コミュニティ・スクールを導入しましたので、地域を巻き込み、更に専門スタッフ、スクールカウンセラー等の知識を持った方たちも入れて「チーム学校」になることが必要だと思っています。

予算がかかることですが、ICT支援員、学校司書、外国人への対応する職員、部活動の指導員、特別支援教育支援員も含めてのチームとしての学校が本町において必要だと考えています。

市原町長 ありがとうございます。先程も話しましたが、人生100年時代となってきますと、現役を引退した方でも専門性を持った方もいますので、支援員は

今でもそうですが、せっかくの人材ですので予算のかかることですが、行政ともども考えていきたいです。

飯塚委員 6番目の生涯学習活動の支援と芸術・文化、運動・スポーツの推進で、平均寿命も伸びていますので、長く健康でいてもらいたいです。介護予防教室や社協のミニデイの人数も増えていますが、移動手段がなくて参加できない方も多いのでこの辺りを充実させていただきたいと思います。

市原町長 町の方で電気会社を発足して3年目ですが、昨年の利益が800万円程でいますので健康器具を購入しています。できれば、運動公園だけでなく、重点道の駅もできますので、そこでも設置をできればと思います。自分で自分のことができることが一番幸せかなと思います。

他にございますか。ないようですので、第2次教育大綱については、この(案)でよろしいですか。

(はい)

市原町長 第2次教育大綱については、(案)をとっていただき、これをお願いします。ご協力ありがとうございました。

次に(3)その他でございますけれども、学校施設についてですが、3月の議会において、教育委員会では方向性をだしながら推進をしていますが、議会の常任委員会で方向性をだしてもらっていますけれども、議会としての方向性をだしていただければ、新しい方向に進めると考えています。できれば、9月までに方向性を示していただければとお願いをしております。場所だけではなく、どのような子どもたちを育てたいという方向をだしていただければと考えています。

長生郡市内に400メートルトラックがございませんので、公式記録を取ることができなく、東金まで行き施設を借りているときいています。これから、子どもたちが増える見込みが少ないなかで、町村を越えて学校が一つになることも考えられますので、どういった学校の将来像が良いのか含めたなかで考えていきたいです。地域の利点である地代が安い点を生かしていければと思います。委員の皆さまからご意見をいただければと思います。

藤原委員 教育大綱にも掲げてありますが、学校があることによって赤ちゃんからお年寄りが集まれる地域の中心である学校が良いと思いますし、子どもたちが

睦沢の図書室が良いと話していますので、その場所でいろいろなことができるコミュニティ・スクールも導入していますので、基本方針に基づき計画的に進めてもらいたいです。

市原町長 町の図書室と学校の図書室を一緒にしたらどうかと話もありましたが、いろいろな話を聞いているなかで学校の図書室は、目的がありますのでそこだけに集中するのも良いのかなと思います。また、今年はずじめて、学校司書を配置させていただきました。協議をしながら良い方向に進めていけたらと思います。他にいかがでしょうか。

飯塚委員 子どもが離れてしまった年代になると、子どもの声が聞こえないと寂しくなると聴きますので、地域の方とふれあえるような学校にしたいです。

市原町長 山を切り開いて学校を建設しているところもございしますが、町民がそこを通ったら子どもたちを見ることができるような場所が良いのかなと思います。農林商工祭を総合運動公園で行っていますが、中学校で1年だけ行ったことがあり、どうして、みえない場所で行ったのだと意見がありました。やはり、通りから見える方がやっている方もやりがいがあると思います。他にいかがでしょうか。

佐藤委員 今年の2月に一貫教育の基本方針を策定し、来年4月から分離型で一貫教育のカリキュラムに沿って進めていくこととなります。施設の場所については、まとまっているのが理想で施設の中に小中学校、こども園以外にどのようなものが入るのか、少しでも余計に入れば理想ですけれども、財源の面で何箇所も視察させていただきましたが、最低50億円はかかります。国の補助金は、3分の1といわれますし、ほとんどが起債です。大きな借金をして何十年も返していくこととなります。どれ位までの金額を町として、一貫教育関係の施設に充当できるのか、安っぽい建物を広く作ることもできますが意見がまとまらないところでございます。

市原町長 国全体でみると、借金の割合を率で見ますが、睦沢町の場合は、年間の額でみまして、いくらまで大丈夫かをみています。一般会計予算が約36億円ですので、そのうち約5億円前後の返済を越えないようにすることで持続可能な睦沢町という、はっきりとした目標を持っています。新しい財源を必要とする場合、いつ始めるかが重要になってきます。今年、来年で基本構想を

策定し、学校建設にもっていきたいと考えています。他にございますか。

学校のあり方以外でも何かありましたらお願いします。

藤原委員 重点道の駅スマートウェルネスタウンの工事が急ピッチで行われてい
ますので、安全面に配慮していただければと思います。

市原町長 わかりました。他にございますか。

それでは、議事がすべて終了しましたので、議長をおりさせていただきます。
ご協力ありがとうございました。

久我主幹 ありがとうございました。以上をもちまして令和元年度第1回睦沢町総合
教育会議を終了いたします。お疲れ様でした。

【 15時16分 閉会 】